

# 青垣

第23号 発行日 平成21年2月27日

雲南市立吉田中学校だより

## 教育委員さん学校訪問 温もりを感じる校舎 ～立派で綺麗な学校～

雲南市の教育委員さんによる「学校訪問」を2月18日 午後に開催しました。当日は、永瀬教育委員長さんをはじめ3名の教育委員さん、そして、安井教育部次長さんを迎え、吉田中学校の施設・設備や生徒の様子を見てもらいました。仕事の都合により、全員の教育委員さんの訪問とはいきませんでした。意見交換には、吉田小学校の平等校長先生、田井小学校の秋田校長先生にもおいでいただき、有意義な「学校訪問」を実施することができました。

当日は、中学校の概要や生徒の様子を話した後、参加者の皆さんに、校舎を案内し施設・設備や生徒の清掃活動、授業の様子を見てもらいました。その後、意見交換を行い中学校はもとより、町内の学校教育の現状や課題を話し合い、実のある話し合いを行うことができました。



校舎案内



ふるさと学習

中学校の概要については、学校だより「青垣」を使用し、今年度の諸活動や生徒の様子、保護者や地域との連携について話しました。特に、教育目標「ふるさとを愛し、心豊かでいきいきとたくましく生きる生徒の育成」の取り組みについては、総合的な学習の時間を活用した「ふるさと学習」を中心に推進していることを話題にしました。この学習は、述べ230名の地域講師の皆さんの支援を受け、地域と共に実施しているもので、教育委員の皆さんから感嘆の声を聴くことができました。

校舎案内では、時間を掛け特別教室等を見学するのは初めてという教育委員が殆どで、木の温もりを感じさせる素晴らしい施設・設備に満足げな表情でした。併せて、生徒の掃除の様子を見てもらいました。突然の視察でしたが、熱心な掃除態度と、いつもに益した、丁寧な挨拶で、生徒たちは吉中の良さをアピールしていました。



ランチルームを説明

## 生徒の様子を視察 真剣な授業態度 ～生徒の態度に感心～

3時から教育委員の皆さんに、授業の様子を視察してもらいました。やまびこ学級では国語の授業を見てもらい、生徒と担任との大きな声での本読みに、一生懸命さを感じ取ることができました。また、挨拶もしっかりとできました。

1年教室では、英語「カナダからの便り」の授業を見てもらいました。生徒たちは、隣の席の人と二人組になり、真面目な表情で英文を読みあっていました。一人一人が大きな声で音読する姿に、これまでの成果を感じ取ることができました。

2年教室では、数学「円周角の定理」の授業を見てもらいました。黒板での説明後、プリントの問題を一人一人が解いていました。問題用紙を覗いてみましたが、全員がしっかりと考えて頑張っていました。そして、生徒同士で確認する姿が印象に残りました。

3年教室では、社会「パレスチナ問題」の授業を見てもらいました。まさに、今、話題となっている「パレスチナ問題」の学習に、参観者は、興味深く教師の説明や生徒の発言に耳を傾けました。生徒は、この問題をとっても真剣に考えていました。



1年生の授業



2年生の授業



3年生の授業

意見交換では、「生徒が寛容なので不登校の生徒が少ない」という話や、「学校全体が綺麗で、落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組んでいる」などの意見が聞けました。また、情報交換では、今後の児童・生徒数の推移や、小・中学校における地域コーディネーターの必要性、児童・生徒の通学方法など予定時間を大幅にオーバーしましたが、教育委員さんとの情報の共有化を図ることができました。

教育委員の皆さんには、吉田町の学校教育に対する期待と支持的風土を再認識してもらうことができました。ご多用の中、ありがとうございました。



教育委員さんと意見交換

食に関する指導 = 学校栄養士 =  
食事は元気のみなもと  
～ 望ましい生活習慣を ～

吉田町の学校教育では、「早ね 早おき 朝ごはん」と共に「あいさつ」「家庭学習」などの基本的な生活習慣の定着を家庭や地域の協力を得ながら推進しています。町養護教諭連絡会では、小・中学校が連携し生活リズム調査を行い、睡眠時間や家庭学習の阻害要因の1つである「テレビ視聴時間(TVゲームを含む)」の改善に家庭と共に取り組んでいます。

また、生活リズムの乱れの要因の1つとして、食生活の乱れがあげられます。近年、子ども達の偏食、朝食抜き、夜食、間食など食生活の乱れが顕著になり、健康ばかりでなく、心身の発達、学習にも大きな影響を与えています。この課題に対応するため、本校では、学校栄養士さんに食に関する指導をお願いしました。



熱心な指導

食事は大切です

2月23日(月)給食終了後、全校生徒を対象に学校栄養士さんによる栄養指導をランチルームで行いました。この指導は、食育の一環として実施したもので、成長著しいこの時期に望ましい食習慣を形成して欲しいとの願いのもとに開催しました。

学校栄養士さんの「人生健康第一」の考えのもと、健康作りの3要素や5大栄養素について学習し、給食を例に、主食や主菜、副菜や汁などの、栄養のバランスや食事の取り方について学びました。

昨今、多様な食品があふれ、いわゆる「飽食の時代」と言われる一方、肥満や高脂血症等の生活習慣病の増加及び若年化など、食に起因する新たな健康課題が指摘されています。今回の学習が生徒たちの健康保持増進の一助になればと願っています。

家庭学習の定着を!!  
= 生活リズムの中に学習時間を =

学習意識に関する調査から、吉中生の家庭学習の時間が、県・市平均より少ないことが分かりました。

平日の平均家庭学習時間を比較してみると、島根県61.2分、雲南市61.1分、吉田中51.2分で、県平均より約16%下回っています。全国平均(2年生)は90分以上の生徒割合が25%に対し、島根県では15%という現状です。

対照的に、吉中生の1日平均のテレビ視聴時間(TVゲームを含む)は、2~3時間が35%、3時間以上が29%とテレビを見る時間が極端に多いことが分かります。(生活リズム調査より)

テレビの視聴時間を少なめ、その日に習ったことは、その日の内に復習し学力の定着を図りましょう。

頑張る!!  
あなたが“最高”  
= 高校入試まであと10日 =

3年生は2月17日に最後の期末テストを終え、3月10日(学力)・11日(面接)の公立高校入試に向けて、最後の追い込みに入っています。放課後の補充学習や家庭での受験勉強に、悔いを残すことがないように全員が一生懸命です。

見出しに「頑張る!! あなたが“最高”」と書きましたが、受験生の中には「人ごとだと思って」なんて怒った人もいるでしょう。しかし、これは信実なのです。皆さんは、体育祭で必死で走る人を見てどうに思いましたか。文化祭で一生懸命な歌声をどう感じましたか。田畑や会社で汗を流す人をどう思いますか。受験勉強に取り組む友達をどう見ますか。

人は誰でも、一生懸命な姿を見たとき、感激したり応援したくなるのです。今の自分を客観的に(一般的な目で)見て下さい。夜遅くまで頑張っている「あなた」は、輝いて見えませんか。応援したくなりませんか。だから「頑張る!! あなたが“最高”」なのです。自分を自分で褒(ほ)めてあげましょう。



3年生 朝学習

真剣な授業態度

鍛錬千日之行 勝負一瞬之行成り

受験は、誰でも不安で逃げ出したいものです。しかし受験を、肯定的にプラス思考で考えると「チャンス」と捉えることができます。肯定的にとは、「何で受験せんといけんや」否定的に考えるのではなく、誰もが通らねばならない道だし、これからの人生でも試験はあるのだからガンバロウと、現実を素直に受け入れることです。そして「プラス思考」とは、受験を「勉強できる絶好の機会」「試験は自分を磨くチャンス」と考え取り組むことです。

受験まで、あと10日。人間、期限があるから頑張れるのです。『頑張る 自分は最高』のプラス思考と、家族や知人の励ましを素直に受け入れ、最後まで全力を尽くして下さい。受験は、貴方の財産となり、将来を生きる力となります。

受験を間近に控えた具体的な対応は、2月25日付けの「三年だより」に掲載してありますので、3年生はもう一度読んでおきましょう。

吉田中学校ホームページアドレス

<http://www.city.unnan.shimane.jp/yoshida-chu/>